

第52回 生命科学夏の学校 開催報告書

生化学若い研究者の会

1. 生命科学夏の学校の概要
2. プログラム
3. シンポジウム・ワークショップ
4. ポスターセッション
5. 参加者交流企画
6. 運営委員名簿
7. 後援・助成・協賛

1. 生命科学夏の学校の概要



◆第52回実行委員長挨拶

このたびは、お忙しい中、第52回生命科学夏の学校ホームページをご覧いただきありがとうございます。今年の夏学は、「分野や年齢の垣根を越えた交流」および「夏学後にも研究生生活に生かせる経験」を参加者の皆様に提供することを目指して計画してまいりました。これまでに夏学に参加されたことのある方も、初めての方も問いません。幅広いバックグラウンドをもった方にご参加いただきたいと考えております。

私自身の初めての夏学は、友人に引っ張られての参加でしたが、たくさんの素晴らしい方々とめぐり合うことが出来ました。それまでは研究室の中だけに目を向けがちでしたが、その外にも、自分と同じ、あるいは全く異なる考え方をもって研究に打ち込む研究者がいることを初めて実感しました。彼らと共に夏学を過ごした中で感じた、自身の視野の狭さや知識の不足と、自身の意見が通用した時の嬉しさは、私のその後の研究生生活の動力源の一つです。

夏学から得るものは個人個人異なりますが、この夏学でしか得られない出会い、経験があります。そのような経験を、皆様に共有していただきたいと考えております。

様々なバックグラウンドを持った若い研究者にお集まりいただけるよう、ワークショップでは、幅広い分野より第一線でご活躍される先生を17名お呼びします。各分野の最先端の研究の話題から、申請書の書き方など研究を進めていく上で必要になるスキルの話題まで13テーマございます。興味のある分野を選択し、質疑応答で盛り上げていきましょう。

全員が参加するシンポジウムでは、3人の先生をお呼びし、大学の内側と外側から、大学院生の期間に何を学んでほしいと期待されているかお話いただきます。ともすれば、何気なく過ぎてしまう日常の研究生生活の中で、何を、どのように学んでいくか、一人ひとり考える場になればと考えております。

皆様の研究を話題に意見を交わす企画としては、研究交流会、ポスター発表だけでなく、口頭発表をしていただく機会も設けました。皆様のスキルアップのために活用いただければ幸いです。

そして、毎年大いに盛り上がる懇親会では、例年通り、お時間の許す限り先生方にもご参加いただきます。普段の研究から私生活に関する話題まで、酒を酌み交わしつつ熱く語り合っていきましょう。

分野の異なる方と議論する際、初めは深い話題へは到達できないかもしれませんが自分の見えていなかった点や、当たり前と思っていたことを改めて質問されることがあります。そのような質問に答えることは、どこに行っても通じる研究への近道であると私は考えています。限られた時間ではありますが、お互いにわからないことを質問しあい、お互いの知識を深め、それをきっかけにさらに深い研究の話題に花を咲かせられたらと思います。

最後になりますが、今年の夏学会場である「西浦温泉ホテルたつき」はいたるところから太平洋を眺望できる広々とした会場です。皆様に気に入っていただけると確信しております。この素晴らしい会場で行う夏の学校が、やはり素晴らしいものとなりますように、スタッフ34名が皆様のお手伝いさせていただきます。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

第52回生命科学夏の学校実行委員長

千葉 彩乃

(大阪大学大学院 医学系研究科 博士2年)

◆開催概要

【主催】 生化学若い研究者の会、第52回生命科学夏の学校運営委員会

【後援】 社団法人日本生化学会、独立行政法人科学技術振興機構

【会期】 平成24年8月24日（金）－8月26日（日）

【会場】 会場：西浦温泉 ホテルたつき

住所：〒443-0105 愛知県蒲郡市西浦町大山25番地

TEL：0533-57-5111

WEBサイト：<http://www.tatsuki-aoi.com/index.php>

◆講演者（五十音順・敬称略）

石浦 章一 先生	[東京大学 大学院総合文化研究科]
有信 睦弘 先生	[文部科学省 中央教育審議会 大学院部会 部会長]
植野 洋志 先生	[奈良女子大学 生活環境学部]
内橋 貴之 先生	[金沢大学 理工研究域数物科学系／バイオAFM先端研究センター]
加藤 忠史 先生	[理化学研究所脳科学総合研究センター 精神疾患動態研究チーム]
齋藤 都暁 先生	[慶應義塾大学 医学部]
瀬尾 拓史 先生	[東京大学 医学部附属病院／株式会社サイアメント]
竹内 理 先生	[京都大学 ウイルス研究所]
豊田 優 先生	[東京大学 医学部附属病院]
永井 健治 先生	[大阪大学 産業科学研究所／科学技術研究機構 さきがけ]
難波 啓一 先生	[大阪大学大学院 生命機能研究科]
林崎 良英 先生	[理化学研究所 オミックス研究基盤領域]
藤原 慶 先生	[東北大学 工学研究科]
堀 昌平 先生	[理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター]
堀本 勝久 先生	[産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター]
坊農 秀雅 先生	[ライフサイエンス統合データベースセンター]
松田 良夫 先生	[東レ株式会社 研究・開発企画部 主幹 担当部長]
茂呂 和世 先生	[理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター]
柳田 充弘 先生	[沖縄科学技術大学院大学 G0細胞ユニット]
山本 泰智 先生	[ライフサイエンス統合データベースセンター]

2. プログラム



8月24日（金）

- 13:00～14:00 開校式
- 14:15～15:15 WS1
- 15:30～17:00 WS2
- 17:00～18:00 チェックイン
- 18:00～20:00 自由時間(夕食18:00～19:30)
- 20:00～21:30 研究交流会
- 21:30～ 懇親会

8月25日（土）

- 8:00～9:00 朝食
- 9:00～10:30 WS3
- 10:45～12:45 ポスター発表
- 13:00～14:00 昼食
- 14:00～17:30 シンポジウム
- 17:30～20:00 自由時間(夕食 18:00～19:30)
- 17:45～18:30 特別講演(自由参加)
- 20:00～ 大懇親会・自由集会

8月26日（日）

- 8:00～9:00 朝食
- 9:30～10:30 口頭発表会
- 10:45～12:15 WS4
- 12:30～13:30 昼食
- 13:30～14:30 閉校式



◆シンポジウム

トップダウン×ボトムアップ

両面から考える大学院での過ごし方

現在大学院に所属する我々の周りでは博士の就職難やポスドク問題などが表面化しています。その原因として、企業からの需要の低さやアカデミックポスト不足などの外的要因が指摘されている一方で、大学院教育や大学院生の質のばらつきなど大学院の内的要因も指摘されております。外的要因の改善を求める事も重要ですが、我々自身が内的要因を改善していくことも必要ではないでしょうか。そんな中、平成23年8月5日に第2次大学院教育振興施策要綱が策定され、平成23年度～27年度までに行う大学院教育改革の方向性および文部科学省として取り組むべき重要施策が明示されました。施策要綱は大学院が輩出すべき人材像を検討した上で策定されているため、その中には今私たちが何をすべきなのか考えるヒントがあると考えられます。そこで本シンポジウムでは第2次大学院教育振興施策要綱を題材とし、先生方から「どのような人材が必要とされているのか」という事を中心にご講演いただきます。また、グループワークでは若手自身でそれぞれの習慣や大学院環境を改善していく方法を考えます。

第一部：講演

第二部：グループワーク

講演タイトル

「大学院教育改革の方向と修了生に望むこと」

有信 睦弘 先生 [文部科学省 中央教育審議会 大学院部会 部会長]

「企業が求める理工系人材について」

松田 良夫 先生 [東レ株式会社 研究・開発企画部 主幹 担当部長]

「アメリカの大学院で学位を取得した一研究者から見る日本の大学院制度と今後の課題」

植野 洋志 先生 [奈良女子大学 生活環境学部]

◆ワークショップ

WS1

- 遺伝子発現調節を司る分子機械と、新しいセントラルドグマ

林崎 良英 先生（理化学研究所 オミックス研究基盤領域）

- 小分子RNAが担う生命現象

齋藤 都暁 先生（慶應義塾大学 医学部）

- 新しいリンパ球ナチュラルヘルパー細胞

茂呂 和世 先生（理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター）

WS2

- 面白く独創的な研究を展開するにはどうすべきか

柳田 充弘 先生（沖縄科学技術大学院大学 G0細胞ユニット）

- 双極性障害の神経生物学

加藤 忠史 先生（理化学研究所脳科学総合研究センター 精神疾患動態研究チーム）

- 知のめぐりの良い生命科学研究者の10の心得

坊農 秀雅 先生（ライフサイエンス統合データベースセンター）

- 文献情報活用術

山本 泰智 先生（ライフサイエンス統合データベースセンター）

WS3

- 最先端バイオイメージング技術で何を解き明かすのか？

永井 健治 先生（大阪大学 産業科学研究所／科学技術研究機構 さきがけ）

- 高速原子間力顕微鏡で可視化するタンパク質の機能動態

内橋 貴之 先生（金沢大学 理工研究域数物科学系／バイオAFM先端研究センター）

- 生体の巧妙な炎症制御システムを探る

竹内 理 先生（京都大学 ウイルス研究所）

- Foxp3、制御性T細胞、『自己』・『非自己』

堀 昌平 先生（理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター）

特別講義

- サイエンスを、正しく、楽しく。 Science × Entertainmentの世界

瀬尾 拓史 先生（東京大学 医学部附属病院／株式会社サイアメント）

WS4

- 生体超分子ナノマシンの機能構造の解明に向けて – 低温電子顕微鏡法のポテンシャル

難波 啓一 先生（大阪大学大学院 生命機能研究科）

- 実験計測データからの検証可能な少数要因分子情報の絞り込み

堀本 勝久 先生（産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター）

- 研究費申請とライティングスキル

・ 石浦 章一 先生（東京大学 大学院総合文化研究科）

・ 豊田 優 先生（東京大学 医学部附属病院）

・ 藤原 慶 先生（東北大学 工学研究科）

4. ポスターセッション



(以下、要旨より)

日時：8月25日(土) 10:45-12:45

場所：竜城、巽、葵(1F)

講演を聴くだけが夏学じゃない！

ポスター発表では、参加者のみなさんの日ごろの研究、活動についてポスターを通して発表していただきます。本企画では、既にまとまっている研究だけではなく、着手段階・途中段階の研究等も発表の対象です。学会とは違った、夏の学校ならではの雰囲気の中で、さまざまな分野の参加者同士、意見を交換し視野を広げる絶好の機会です。「講演を聴くだけでは飽き足りない。」「学会発表の前に練習したい。」「うまくいっていない実験系について詳しい人に聞いてみたい。」という方、是非ご自身の研究テーマについてポスター発表してみませんか？

ポスターの仕様は次の通りとなります。

【使用言語】

日本語・英語

【ポスター形式】

サイズ：A0 (841×1189)

一枚にまとめても複数の紙を貼ることも可能です。

【発表形式・発表時間】

ポスターの掲示タイミング、発表時間(前半・後半)等は、夏の学校当日にご案内申し上げます。指し棒やレーザーポインター等の備品はございませんので、必要であれば、各自ご用意ください。

【ポスター賞】

例年の最優秀賞、優秀賞に加え、今年は特別賞も検討中です。是非奮ってご参加ください。

5. 参加者交流企画



◆研究交流会

日時: 8月24日 20:00-21:30

場所: 竜鳳、伯鳳(2F)

夏学の初日、新たな出会いを良い刺激に

他分野の方との交流・意見交換は、自分の興味の幅を広げる機会であり、また同時に自分の研究に対しても思わぬ良い刺激を与えるものです。

研究交流会は、異なる背景を持った方達と語り合い、視野や知識を広げるチャンス。夏の学校には、様々な分野の研究者が全国から集まります。初日の企画ですので、まずはこの研究交流会をきっかけとして、参加者同士交流を深めあってください。

本企画は、事前に作成していただくシートをもとにして、一人ずつ順番に発表していく形で進行いたします。5~6人という少人数のグループに分かれて行うので、積極的に意見を交換して、様々な分野の方と交流してください。

企画 研究交流会担当: 野崎 智裕

6. 運営委員名簿



センター事務局長

谷中冴子

夏学実行委員長

千葉彩乃

夏学事務局

瀧慎太郎

シンポジウム

杉田昌岳（シンポ長）

松原惇高

中村太一

WS

鈴木翔（WS長）

鈴木龍一郎

大上雅史

横山貴央

宇田川侑子

神庭圭佑

清水隆平

志甫谷涉

奥彰彦

谷友香子

宮武祐樹

企画

畑敬士（企画長）

松林英明

小野田淳人

野崎智裕

ポスター

廣瀬翔也

会場

松原由幸

鎌田早帆

Web

森脇由隆（web係長）

岡田俊平

大上雅史

要旨集

山口志保

宮武祐樹

会計

西村友里

企業広告

内藤寛（企業広告長）

白井福寿

鈴木龍一郎

中前直美

豊田由美子

ハミルトン・クレイグ

馬谷千恵

7. 後援・助成・協賛



ここに、ご支援並びにご協力いただきました団体・企業の皆さまに対し、厚く御礼申し上げます。

【後援】

社団法人日本生化学会
独立行政法人科学技術振興機構

【特別協賛】

タイテック株式会社
メルク株式会社

【協賛】

BMG LABTECH JAPAN
株式会社DNAチップ研究所
株式会社イナ・オプティカ
十慈フィールド株式会社
生化学工業株式会社
テカンジャパン株式会社
日本ジェネティクス株式会社
和光純薬工業株式会社
株式会社アズバイオ
エア・ブラウン株式会社
フナコシ株式会社
ライフテクノロジージャパン株式会社
株式会社羊土社

【助成】

公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団
公益財団法人サントリー生命科学財団

生化学若い研究者の会 第52回



生命科学 夏の学校

ライフサイエンスに魅了された者達よ! 決してこのチャンスを逃してはならない。
～かけがえのない出会い・経験がここにある～

2012年8月24日(金)～8月26日(日) 西浦温泉 ホテルたつき(愛知県蒲郡市)

アクセス: JR蒲郡駅・名鉄西浦駅から送迎バスまたはタクシー

特別協賛・タイテック株式会社、メルク株式会社

協賛…… BMG LABTECH JAPAN、株式会社DNAチップ研究所、株式会社イナ・オプティカ、十番フィールド株式会社、生化学工業株式会社、テカンジャパン株式会社
日本ジェネティクス株式会社、和光純薬工業株式会社、株式会社アズバイオ、エア・ブラウン株式会社、フナコシ株式会社、ライフテック/ロジーズジャパン株式会社
株式会社草土社

助成…… 公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団、公益財団法人サントリー生命科学財団

主催…… 生化学若い研究者の会

後援…… 社団法人日本生化学会、独立行政法人科学技術振興機構

シンポジウム

「トップダウン×ボトムアップ」

両面から考える大学院での過ごし方

ポストドク問題や博士の就職難が表面化している昨今、第2次大学院教育関係政策審議が策定され、国としての大学院改革の方向性が打ち出されました。私達大学院在籍者には何が求められているのでしょうか? 私達は大学院にて何を身につければ良いのでしょうか? 本シンポジウムでは、産・官・学の3人の先生からの講演やグループワークを通じて大学院にて何をどうやって身につけるべきなのかを考えます。

●「企業が求める理工系人材について」

……松田 良夫 先生
(東レ株式会社 研究・開発企画部 主幹 担当部長)

●「大学院修了者への期待と大学院改革の方向」

……有保 隆弘 先生
(文部科学省 中央教育審議会 大学院部会 部会長)

●「アメリカの大学院で学位を取得した一研究者からみる日本の大学院制度と今後の課題」

……植野 洋孝 先生 (奈良女子大学 生活環境学部)

企画

- ポスターセッション
- 研究交流会
- 懇親会
- 自由集會
- 口頭発表会 etc.



生命科学夏の学校とは?

「生命科学夏の学校」は、生命科学分野の研究者を目指す大学院生を中心に、学部生・ポストドク・企業の研究員まで全国各地から毎年100名以上が参加する合同型のサマースクールです。先生方から最先端の研究をお話していただくとともに、先生方と交えての研究交流会、懇親会も行います。同じ生命科学研究者たちが夜遅くまで大いに語り合う、学会とはひと味違った魅力がここにはあります。

詳細・参加申し込みは下記URLにて
参加申し込み締め切りは 2012年7月15日まで

<http://www.seikawakate.org/dai52/register.php>

ワークショップ

[8月24日 14:10～15:10]

●遺伝子発現調節を司る分子機械と、新しいセントラルドグマ

……林崎 良夫 先生 (理化学研究所 オミクス基盤研究領域)

●小分子RNAが担う生命現象

……斎藤 都純 先生 (慶應義塾大学 医学部)

●新しいリンパ球ナチュラルヘルパー細胞

……渡島 和世 先生
(理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター)

[8月24日 15:20～16:50]

●面白く独創的な研究を展開するにはどうすべきか

……藤田 克弘 先生
(沖縄科学技術大学院大学 GO細胞ユニット)

●双極性障害の神経生物学

……加藤 忠史 先生
(理化学研究所科学総合研究センター 精神疾患動物モデル研究チーム)

●知のめぐりの良い生命科学研究者の10の心得

……坊間 秀雅 先生 (ライフサイエンス総合データベースセンター)

●文献情報活用術

……山本 泰智 先生 (ライフサイエンス総合データベースセンター)

[特別講演:8月25日 17:40～18:30]

●サイエンスを、正しく、楽しく。
Science x Entertainmentの世界

……瀬尾 拓史 先生
(東京大学 医学部附属病院 / 株式会社サイアメント)

[8月25日 9:00～10:30]

●最先端バイオイメージング技術で何を解き明かすのか?

……永井 健治 先生
(大阪大学 産業科学研究所 / 科学技術振興機構 さきがけ)

●高速原子間力顕微鏡で可視化するタンパク質の機能動態

……内橋 真之 先生
(金沢大学 理工研究域数物科学系 / バイオAFM先端研究センター)

●生体の巧妙な炎症制御システムを探る

……竹内 理 先生 (京都大学 ウイルス研究所)

●Foxp3, 制御性T細胞, 「自己」・「非自己」

……堀 昌平 先生
(理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター)

[8月26日 10:50～12:20]

●生体超分子ナノマシンの機能構造の解明に向けて
- 低温電子顕微鏡法のポテンシャル -

……野澤 哲一 先生 (大阪大学大学院 生命機能研究科)

●実験計測データからの検証可能な少数要因分子機構の絞り込み

……坂本 勝久 先生
(産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター)

●研究員申請とライティングスキル

……石浦 卓一 先生 (東京大学 大学院総合文化研究科)

……豊田 優 先生 (東京大学 医学部附属病院)

……藤原 慶 先生 (東北大学 工学研究科)



生化学手

検索